

魂獸淫使 参



R-18
成年向け



前回までのあらすじ

隠神刑部に捕らえられたイツナは
精神汚染や陵辱によって
首領イエヤスの仔を孕ませる為の
実験を施されていた
なかなか属性浸食しないイツナに
陵辱調教はさらにエスカレートしていく

んふうううつ
ひぐううつ！

これで何回目だ
この擬似出産は

すでにもう
五回目だな

んおあ
んおあ

ふっ…頑丈な
ものだな…さすが
白面金剛九尾か

クリーチャーの
植え付けは可能だが
相変わらず母体
自身は妊娠せず…か

くっ…くるっ
化物…中で
…動いてるっ！

こうして子宮を
刺激し排卵を
促す実験は…
失敗のようだな





ヒッパッ

…ズナ

いつ…やつ

おい起きろ
イツナっ!

あ…ああ



…カイ

なんか悪い夢でも
見てたんじゃ
ねえのか…?



…カイ…イ?

なんなんだ
さつきから延々と
うなされてたぞ



カイいい!!

どわああっ
なんだあ!?

はあん…化物を
何度も出産させ
られる夢ねえ…

ああ…ひどく
現実的で嫌な
夢だった…

まあしかし
随分マニアックで
お盛んな淫夢
じゃねえか

うっ…むう

そう言われると
我がただの淫乱
九尾みただいな

否…こんな夢を
見るのはカイの
愛が足りないから
ではないか？

ギョー

おい…まさか
起きたばっかで
する気か…？

もっと激しく
愛し合わねば契約が
切れてしまうぞ！

我はカイの仔が
産みたいと
言っておるんだ

グッ
グッ

お…おいつ
…イツナっ

だから…な♡

あっ♡

あん♡

ギョッ

あぁ♡

ギョッ

はっ♡

まだだっ…チンポ
こんなに怒張されて
何を言っておる！

あん♡

我を孕ませ
ようと…奥まで
突き上げて
くるぞ…っ

ギョッ

ギョッ

おい…待て
そろそろ
休憩を…っ

ゴクゴク

ゴク

ゴク

それでも朝から
ずつとだぞ…
いい加減…っ

グッ

グッ

駄目だ…腰が
止められない
んっ…おおい♡

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

いい…気持ちいい
やはりカイの
チンポは最高だ♡

まったく…このエロ狐
…付き合うこっちの
身にもなれっての

ふっ…ん…そんな
我が可愛いのだろう
この…ドスケベが

っ…射精すぞ
しっかり
受け止めるよ

おおおおっ♡
きてる…精子っ
奥まできてるっ♡

するっ…カイの
精子で…妊娠…っ
受精するううっ！

ふう…こりや
…我ながら
すげえ量だな

こらっ…抜くな
せつかくの子種が
もつたいない♡

…ならもつと
尻を突き出せ

今度は後ろから
蓋をしてやるよ



ああ…カイ
好きだ…カイっ
大好き…だっ

愛してる…っ
ずっと…絶対に
カイの仔を…っ



それで…

結局この茶番は
いったいどういう
趣向なのかしら？

いつも通り
ただ豚共が輪姦
している様に
見えるけれど…

はい…この魂獣は
どんな雄に種付け
させても一度も
孕みません…

…どうも以前の
因使との契約が
未だ切れていない
様子なので

幻術で因使との性交と
思い込ませれば
受精する可能性も
あるかと思ひまして

今日はいつもより
ずいぶん積極的
じゃねえか雌狐

ズツポリと膣が
チンポに喰い
付いてきやがる



休みなく
ガンガン腰を
振ってくるぜ

今ごろ夢の中で
たっぷりと濃厚な
交尾の最中でしよう

このトロけっぷり
どっちが豚か
わからねえな!



カイ…♡



あのへドが
出そうな悪臭の
唾液を味わって
飲んでるわ



醜いものね…
見ているこっちが
吐き気がする

父上はこの九尾にも
仔を産ませるつもり
なのでしようが…

おおっ…カイ
もつと…もつと
激しく…っ♡

わざわざ強力な
不穏分子を作る
事はありません

おらっ射精すぞ
雌豚あつ!

今度こそ
しっかり孕めよ

あんな女狐…いえ
雌豚には豚を産む
のがお似合いよ



…とはいえ
やはりそう旨く
いく訳もなく

いくら射精しても
受精までには
至らないようで



やはり属性が
違うクリーチャー
では効果が薄い
のはないか…と

貴方はたしか
あの九尾の親友で
同じ属性のタタラ
…だったかしら

肉体改造だけして
属性浸食せずに
置いてよかったわ♪

…というわけで
貴方の出番よ



もう何週間も
射精禁止して
いたんですもの

あらあら可哀想に
こんな立派なモノを
生えさせられて…

今にも爆発して
しまいそうな
すごい勃起よ♡



けど喜びなさい
貴方の肉欲は
すべてあの雌豚が
受け止めるわ

プリプリの精液を
あの肉便器に
ぶち撒け放題よ

見なさいあの
気持ちよさそうに
トロけきった肉壺



さあ…たっぷり可愛がってもらいなさい

おん…!!



ほら…貴方のチンポがとっても気に入ったみたい

溜まりに溜まったチーズのようなチンカスを舐め取ってくれるわよ

はぁぁ♡

んんん♡

スー スー



アッ♡

んんん♡



すごいパキユーム
貴方の精液が欲しくて
仕方ないみたい



どう…もう限界？
親友のお口に
ビュービューって
射精したい？

なあに…？
聞こえないわ



どうしたいのか
ハッキリ口に
出さないな

かはっ
もっ…もう
無理だ…っ
射精したい

イツナのロマンコに
溜まったザーメン
中出ししたいっ！

よくできました
それじゃあ
これはご褒美よ

おっほおおお♡
イクっ…イツナの
喉マンコでイクう♡

コッ
コッ
コッ

クッ
クッ
クッ

クッ
クッ
クッ

クッ
クッ
クッ

クッ
クッ
クッ

クッ
クッ
クッ

クッ
クッ
クッ

クッ
クッ
クッ

クッ
クッ
クッ

クッ
クッ
クッ

クッ
クッ
クッ

クッ
クッ
クッ

んおおお
クククククク
射精気持ち
クククククク

あらあら
親友のお口を
汚すなんて
はしたない♪

あは…すごい量
飲み切れない
みたいよ…

これだけ射精して
まだ全然勃起が
治まらないなんて



んふ…いよいよ
本番開始みたいよ

あつ…ああ
イ…ツナ…ああ♡

おはおは♡



おほおおお
すごっ…いい

イツナのオマンコ
気持ちよすぎるっ

はっ
はあ

あ

あ

くちゅ
ちゅる

くちゅ
ちゅる

くちゅ
ちゅる

くちゅ
ちゅる

くちゅ
ちゅる

くちゅ
ちゅる

でっ…射精るっ
一突き毎に精液
漏れちゃうう!

駄目だ…もう
堪えられない

もっと…もっと
激しくイツナを
犯したい…っ!

うふっ…いいわ
好きなように
暴れてみなさい

オハハハ

ああああ…っ
イツナああっ！

犯す…イツナの
エロマンコを
ぐちよぐちよに
掻き回す…っ！

ニヤ

ニヤ

このチンポで
イツナの子宮を
孕ませてやる！

ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ

ハハハハ



ああ…イツナ
強くて美しい
お前が…こんな…

俺のチンポで
こんなに可愛く
身悶えて…っ

もう…お前は
俺のモノだ!

あら…駄目よ
調子に乗っちゃ
少し調教が必要ね

っ…!?
なっ…にを

ぐへへへっ
雌豚同士見せつけ
やがって…

やっ…駄目…だ
挿入れ…ながら
こんな…んおお♡

パニ
パニ
パニ
パニ
パニ
パニ
パニ
パニ
パニ
パニ

くふ…いい具合だぜ
膣の中からチンポの
根元を擦ってやるよ

おっ
おっ
おっ

おっ
おっ

おっ
おっ

おっ
おっ

やめっ…そんなに
激しく…ああっ
突かれた…らっ

イクっ…射精る
中出しされながら
射精するうう！

おらっ…しっかり
射精して雌豚を
孕ませやがれ！

しゅご…いつ
精子い…っ
とまらないい！

おおおおっ♡
イクっ…イグう♡



んふ…これで
とりあえず
種付け完了ね

さて…結果が
楽しみだわ



…やっぱり駄目ね
いくら射精しても
一向に受精しない

やはり契約を
切る方法を
探すのが先…か

おあっ
ズツ
ズツ

おあっ
んっ

ポロ
ポロ
ポロ

おあっ

はあ
ズツ
ズツ

おあっ



ふん…まあいいわ
まだまだ試す機会は
幾らでもあるもの

…必ず貴方を
完全に墮として
差し上げますわ
白面金剛九尾さま

あっ

んっ

んっ

んっ

んっ
あっ

おあっ

んっ
んっ

んっ

■あとかき■

どうも、ソメジマです。
そんなわけで今回は前回の冬コミから
神羅万象のイツナママン本の続編です。

新章のアスタ様やバズドラコラボのイツナママンに
ハァハァしながら妄想を膨らませて描きました。(*´д`*)
艦これの愛宕本などにも心が揺らいだりもしましたが
やはりイツナママンのエロスを優先させました！
ママンのラブチュッチュから墮とす流れは
個人的にすごくお気に入りです。
まだまだママンで描きたい描写は尽きないので
また機会があれば続きを描きたいと思っております！
果たしてイツナママンを完全に墮とす事ができるのか！？
乞うご期待！！…とかね
(…艦これはもう少し情報を集めたら描きたいかなあ。おッ)

そんな感じでまた色々なジャンルにも手を出して
いきながら次回の構想を練っていきたいと思いますので
またどこかで見かける事がありましたら
よろしくお願ひします！

■奥付■

発行：脳内液汁

発行日：2013/12.31

コミックマーケット 85

印刷：ねこのしっぽ様

URL：<http://somejima.blog61.fc2.com>

本誌は18歳未満の購入・閲覧はできません
又、無断転載などをご遠慮ください



Adult Only